

評価会議（平成 29 年度期末）における委員の評価及び意見

1 取組実績の評価（1）：事業の実施状況

評価点 (配点 25 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	20	22	23

主な意見等

- ・地域カルテ（地域虎の巻）への取組みが評価できる。
- ・区の特徴に立脚した地活協支援が立案されている。
- ・予定した企画を実施しており、また一定の成果をあげている。

2 取組実績の評価（2）：事業の実施体制等

評価点 (配点 15 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	12	12	13

主な意見等

- ・実施体制が有効に機能している。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）に関する評価

評価点 (配点 20 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	16	15	18

主な意見等

- ・多文化共生の取組みや外国人支援員の機能等は、他区の手本となり得るのではないか。
- ・ユニークな取組み（勉強会）をされている一方で、その場に来ない地域へどうアプローチすればいいかを考えていく必要がある。

4 取組効果の評価：目標等の達成状況

評価点 (配点 40 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	32	32	38

主な意見等

- ・組織運営について、役員が交代する時期など引き続きフォローを行い、目標達成に向けて取り組んでほしい。
- ・「入りにくい地域」の解消に向けて今後も努力してほしい。
- ・NPOや事業所などへのアプローチは今後とも拡大・充実・強化してほしい。

5 総合評価

(1) 総合評価 I

項目	A 委員	B 委員	C 委員
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	A	B	A
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	A	B	A

(3) 区のマネジメントに合った取組	A	B	B
--------------------	---	---	---

主な意見等

- ・ 支援の見える化や角度を付けた個別支援は、多くの地域にとって有効と思われる。

(2) 総合評価Ⅱ

項目	A 委員	B 委員	C 委員
総合評価（全体）	A	B	A

主な意見等

- ・ 地域の特徴を強みとして活かしているところが評価できる。
- ・ 今後は一人暮らしや低所得層等への事業配慮も考えていてもらいたい。

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A：本市の求める水準以上の効果が得られた
- B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C：本市の求める水準の効果が得られていない